

【相模原市社会教育委員会議 研究調査報告書(令和元年12月)】 社会教育が拓く豊かな地域コミュニティ(概要)

社会の変化と新たな課題

日本社会

少子高齢社会、人口減少社会、人生100年時代 / 技術革新の進展 / 子どもをはじめとする貧困と格差 / 大規模災害への備え / 治安・防犯対策 / コミュニティの弱体化 / 地方都市の過疎化 / 社会保障費の増大 / 多様性拡大の動き

相模原市

人口構成の変化と人口流動化 / 中山間地域の過疎化 / 高齢者を取り巻く状況の変化 / 子育て環境の変化 / 子どもをはじめとする貧困と格差 / 自治会等の地域活動団体の変容 / 地域学校協働活動の推進 / 大規模災害への備え / 治安・防犯対策 / 公共施設の老朽化と再生への取組 / 選ばれる都市への取組

コミュニティの変容と直面する課題

変容：コミュニティの必要性への意識低下 / 自治会等の加入率低下 / SNSなど仮想空間が活発
課題：地域活動への参加低調 / 若い世代の担い手不足 / 地域の伝統文化の継承が困難 / 災害時の避難支援体制構築 / 住民ニーズを掘り起こした事業を企画実施できる市職員の育成

社会状況の変化と社会教育への期待

地域づくりの実践(以下取組事例)と福祉分野との協働への動き

子育て・親育ちの支援

家庭教育支援報告書(社会教育委員会議編集)

- ・多様な家庭へ情報、学習機会を届ける工夫
- ・学びを通じた親育ちの支援
- ・地域で親子の育ちを支援

困窮家庭支援,居場所づくり

子ども食堂 peco

- ・子どもたちと食事・調理を楽しむ
- ・子どもたちの聞き役,話し相手になる
- ・居場所づくり,社会経験を積む場

青少年の地域活動,社会体験支援

串川ふるさとづくり協議会

- ・中学生を主役とし世代を超えた住民参加による地域づくりの活動
- ・多くの人に関わる機会と交流(盆踊り,里山歩き,ヤマメ放流など)

多世代交流による青少年育成

SGY体操教室

- ・多世代の指導者や学生ボランティアによる子ども向け体操教室
- ・みんなが楽しく学ぶ,子どもたち自ら向上心が芽生える

地域社会が有する「安全,安心に暮らせる場」「次世代を育む場」の機能向上への要求
住民の地域活動を通じた自己実現意欲の高まりと地域参加の促進

地域コミュニティづくりにおける社会教育への期待

相模原市における社会教育の方向性

地域の現状や課題に精通する「人づくり」

- ・コーディネーターの発掘・育成
- ・公民館体制の拡充
- ・職員の研修の充実
- ・情報へのアクセス向上
- ・社会教育士の活用

様々な市民の交流が生まれる「場づくり」

- ・気軽に参加できる交流の場
- ・公民館の他施設との複合化やオープンスペースの設置
- ・公民館図書室の活用
- ・講座の充実

地域、学校、団体等をつなぐ「仕組みづくり」

- ・様々な人が主体的に役割を担う場面の設定
- ・団体を越えた連携・協働
- ・館長代理やCSW等の課題共有
- ・ICTを活用した情報共有

社会教育が拓く豊かな地域コミュニティ

人を育て人をつなげる社会教育

社会教育の強み	社会教育の弱み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び合い認め合うことでつながりを生む ・ 主体的な学びや活動へと向かわせる ・ 学びの成果を地域で生かす意欲を生む 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体系性や反復,再現性に欠ける ・ 関係者同士の閉じた関係に向かいがち ・ 情報発信が弱い

地域社会をマネジメントする視点

地域社会へ向ける
私たちの市民意識

+

コミュニティ・
リーダーの発掘

+

問題解決型の社会
教育プログラム

シチズン
シップの
発揮

9つの提言

9つの提言		領域	枠組み
個人個人に 対する提言	大切にしたい学習権	意識, 態度, 行動, 学習	自立
	健康と幸福を求める私たち自身の意識変革	意識, 態度, 行動, 学習	自立
地域に 対する 提言	他人事(ヒトゴト)から自分事(ワタクシゴト)へ	意識, 態度, 行動	自立
	コーチングによる人材育成	能力開発, 人材育成	開発
	地域住民・地域活動団体・市民活動団体等のネットワーク形成	連携, 協働, 情報	連携
行政に 対する 提言	公民館の更なる充実	運営	連携
	ネットワーク型公民館への転換	連携, 協働, 情報	連携
	地域学校協働活動の拡充に関わる基盤整備	能力開発, 人材育成	開発
	社会教育士の積極的な受け入れ	能力開発, 人材育成	開発

提言のイメージ図

